

会員のみなさま、

下記のシンポジウムを、2月20日に大阪大学で開催します。

みなさまのご参加をお待ちしております。

シンポジウム「メディアを介した対立会話」

日時：2017年2月20日（月） 13:00～15:00

場所：大阪大学大学院言語文化研究科 A 棟 2F 大会議室（豊中キャンパス）

参加：参加費無料・事前申込不要（直接ご来場ください）

企画：岡田悠佑（大阪大学）

登壇者：浄土寺彩（大阪大学・院生）、岡田悠佑、古川敏明（大妻女子大学）

概要：

相互行為において参加者が互いの主張や立場をぶつけ合う対立会話は、我々の社会生活の一部として、日常会話から討論会や裁判といった制度的会話に至るまで、様々な相互行為場面で行われている。しかし、相互行為の当事者だけではなくその相互行為を外から見ている視聴者がいる場面、例えばテレビで放送されるインタビューやディスカッションにおいて、どのように対立会話が始まって終わり、外から眺めている視聴者に対して何をを行い、そして相互行為を超えてどのように帰結するのだろうか。本シンポジウムの狙いは、ニュース番組でのインタビューや中継された米国議会公聴会といった、メディアを介した相互行為における対立会話の様相を、会話分析を中心とした談話研究の視点から明らかにすることである。

*本シンポジウムは、放送文化基金の助成を受けて開催します。

問合せ：大阪大学 岡田悠佑 <<mailto:okada@lang.osaka-u.ac.jp>>